

2010年度

科目名	日本語学講読Ⅱ			
担当教員	藤田 保幸			
配当	日文2(2112)		コード	11030
開期	後期	講時	月曜日1限	単位数 2
授業テーマ	森鷗外訳「ふた夜」講読			
目的と概要	森鷗外が明治23年に公にした翻訳小説「ふた夜」を講読し、日本語学の観点から観察・検討することを通し、日本語学の基礎的な知識を涵養する。本篇はドイツの作家F. ハックレンダーの原作で、名訳との評判の高いものである。最初に、初期の森鷗外の文業について解説し、それから分担を決めて少しずつ読み進めていく。やや難しい文語文なので、きちんと現代語訳していくとともに、校異の作成と内容についての調査を求める(調査事項は指示する)。			
成績評価法	毎回の授業での取り組みと出席を基礎点とし、指定された事項についての調査報告(60%)と確認の小テスト(40%)によって評価する。受講態度のよくない者に対しては、単位を与えない。			
テキスト	『舞姫・うたかたの記 他三篇』/森鷗外/岩波書店(岩波文庫)			
参考書	『森鷗外文業解題 翻訳篇』/小堀桂一郎/岩波書店			
履修に当たっての注意・助言	古語辞典・漢和辞典を携行することが望ましい。			
講義計画				
第1回	導入—森鷗外の初期の文業について			
第2～3回	「ふた夜」冒頭の解説・調査項目の説明			
第4～14回	「ふた夜」講読—現代語訳・調査発表			
第15回	総括と小テスト			